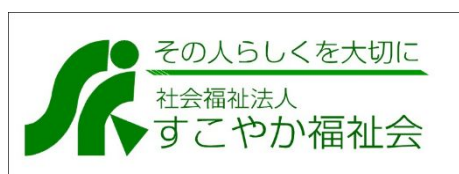


# 3期連続黒字を達成し、 押し寄せる制度改悪の荒波を乗り越えよう

—社会福祉法人すこやか福祉会2017年度事業活動計画抜粋—

2017年5月24日

常務理事 菊地



## はじめに

2016年度は人材確保の困難さから事業運営上でさまざまな課題が生じました。しかし私たちは、そのような状況下であっても、無差別・平等の立場から最も困難な人々に寄り添い、地域福祉の砦としての任務をまっとうするために奮闘し、そのような困難な状況の中で2期連続の黒字を達成することができました。2017年度はなんとしても3期連続の黒字を達成し、2018年に押し寄せる制度改悪の荒波を乗り越えなくてはなりません。私たちの現在の到達点に確信を持ち、更なる発展に向けて奮闘します。

## 1. すこやか福祉会5ヵ年計画(2015～2019)3年目

- サービス事業部制から四つ（葛飾・足墨・湾岸・埼玉）のエリア事業部制への組織転換
- 4月おおぞ学童保育所運営受託と（仮称）梅の実保育園来年4月開園準備
- 事業所移転：江東診療所複合ビル、鷹野5丁目複合施設
- 葛飾やすらぎの郷大規模修繕
- 20周年行事・企画の準備

## 2. 事業の成否がかかる人材確保と育成

- 経営幹部の継続的な保全・配置・養成：介護幹部・保育幹部の大胆な抜擢
- 離職防止対策の具体化：初期研修の内容検討、教育事業の体系化
- 人事計画の見直しと賃金労働条件：ICT活用による省力化と処遇改善政策による賃金是正

## 3. 日常的な安全対策・危機管理対策と法的整備・法令遵守

- インシデント・アクシデント・クレームレポートの集約・分析・水平展開と再発防止対策
- 大規模災害時のマニュアル整備と防犯対策：相模原事件の教訓
- 質の向上や機能強化、多職種協同の視点での対応と法的整備・法令遵守の推進
- 社会福祉法人制度改革への対応

## 4. 私たち自らが主体となった社会保障拡充に向けた運動

- 地区協への集中と社保協等の地域団体の活動参加、職能団体を経た運動
- 地区協や社保協で取り組んでいる自治体懇談や予算要望の取り組みへの積極的参加

## 5. 「住みなれたまちで」の理念を追求し、地域や医療との連携に取り組む

- 地域や住民組織、行政との連携も視野に入れた取り組み
- 総合事業対策：協議会で新たに開設した二つのNPO法人との連携
- 旧千住大川デいの活用検討と法人独自の地域貢献活動の検討
- 支援する会や共同組織（友の会）との連携 職員入会の促進と協力した活動

## 6. 引き続き経営基盤の強化に取り組む

- 3期連続の黒字達成：人材不足や制度改悪への対策実施と2018年同時改定対応
- 利用者確保と費用の見直し：制度改悪による待機者減対策、職員体制に見合った利用者獲得

## すこやか福祉会の理念

1. 私たちは、**命と人権をなによりも大切に**します。福祉・介護サービスの提供にあたって、自立支援を重視し、安全に努め、その人らしく生きていくことを支援します。
2. 私たちは、国内外の福祉・介護サービスの実践と研究の成果に学び、サービス内容の改善充実に努めるとともに、病気や障害をもつ人々の生き方に共感し、ともに学び成長する職員の育成に努めます。
3. 私たちは、公共性の高い非営利の事業体として、事業内容の透明性を高め、情報の公開と共有を基礎に、民主的な運営と健全な経営に努めます。また、職員がやり甲斐と生きがいをもって生き生きと働きつづけられる職場づくりをめざします。
4. 私たちは、保健・医療・福祉の充実と地域に根ざしたネットワークづくりに努めるとともに、地域住民と交流を深め、理解と参加・協力を得るよう努めます。また、人間が大事にされ、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。
5. 私たちは、地域の子どもたちの成長発達を守り、保護者と共同で、ひとり一人を大切にその人らしく生きる力を育むことを支援します。

### 法人の将来展開を考える上での情勢の捉え方(一例として)

#### ●2016年6月に政府が打ち出した「一億総活躍プラン」:アベノミクス新三本の矢

第1の矢: GDP 600兆円の実現

第2の矢: 希望出生率 1.8の実現

第3の矢: 介護離職ゼロの実現

※「第2・第3の矢」:「第1の矢」実現のための手段?

高齢者が増えるときに必要なのは、医療職や介護職だけではない。増える社会保障費と経済を支える働き手が必要。

女性の就業率を上げるためには(2014年 70.8%:25~44歳)、保育所増設?

#### ●「待機児童」をめぐる動き

厚生労働省は、「待機児童」が2016年4月1日時点で、前年同期よりも386人多い2万3,553人になったと発表。一方で「待機児童」には数えられない「隠れ待機児童」が6万7,354人となり、前年比で8,293人も増えていることも公表。2016年度の保育所申し込み数は255万9,465人で、前年よりも8万6,684人も増えている。2015年度からスタートした「子ども子育て支援制度」によって、認定子ども園や小規模保育などが拡大し9万4,585人分増えたが、認可保育園の受け入れ枠は前年よりも1万3,929人分減っている

「待機児童」が解消できないにもかかわらず、実は定員割れをしている保育施設も

- ① 保育所に入る子どもの比率(保育利用率)急増
- ② 保育ニーズの地域的偏在
- ③ 子どもの年齢による保育の供給の偏在

保育士1人で保育 0歳児:3人、1~2歳児:6人、3歳児:20人、4~5歳児:30人  
待機児童の比率 0歳児:15.7%、1~2歳児:71.1%、3歳児以上:13.2%

#### ●情勢から見出す課題として

保育ニーズは地域だけではない、企業も深刻な事情

事業所内保育所と企業主導型保育事業(2016年~「子ども・子育て支援新制度」)の検討

協議会との関連での展開

協議会の職員確保対策の一環

日常生活支援・総合事業対策